

# 介護現場における認知症の人の意思決定支援

社会福祉法人 東北福祉会

〒989-3201 宮城県仙台市青葉区国見ヶ丘 6 丁目 149-1

## 助成事業の概要

- 1. 目的** 日常生活や社会生活等において認知症の人の意思が適切に反映された生活を送れるよう、認知症の人の意思決定に関わる人が、その意思をできる限り丁寧にくみ取るために、認知症の人の意思決定を支援するための基本的な方法を理解することにより、認知症ケアの質向上を図ること。
- 2. 日時** 令和4年11月19日(土) 14:00～16:00 (120分)
- 3. 講師** 川崎 裕彰 (かわさき ひろあき) 氏 (公益財団法人 東京都福祉保健財団 高齢者権利擁護支援センター専門相談員、かわさき社会福祉士事務所 所長、NPO 法人となりのかいご理事)
- 4. テーマ** 「介護現場における認知症の人の意思決定支援」 オンラインセミナー
- 5. 内容**
  - ・意思決定支援の基礎知識
  - ・実際の対応事例 (施設利用者や在宅生活者)
  - ・チームで意思決定支援を実施するための具体的な方法と留意点
  - ・意思決定支援のポイント (こんな場面では、このように対応するなど)
- 6. 対象** 介護・医療等の従事者、学生、その他一般住民、等
- 7. 定員** 100名

## 事業の成果

本研修は、新型コロナウイルス感染症予防の観点からオンライン開催といたしました。参加者が限定的となる集合型研修と比べ、オンライン開催のメリット (移動制限がなく、全国各地から視聴参加可能) を活かしながら、多くの方々と「認知症の人の意思決定支援」について学びを深めることができたと思います。

今回のテーマである「認知症の人の意思決定支援」については、厚生労働省が平成30年6月に「認知症の人の日常生活・社会生活における意思決定支援ガイドライン」を策定しており、これは、特定の職種や特定の場面に限定されるものではなく、認知症の人の意思決定支援に関わる全ての人を対象としたガイドラインであります。権利擁護の観点からも高齢者虐待予防など福祉、医療の専門職者はもちろんのこと、当事者やその家族の意思、思いを大切にしたい関わりの重要性が求められていると実感しました。また、講義後半の質疑応答でも、参加者から具体的な実践活用について質問が多く寄せられており、日頃の支援場面で難しさを感じているという実情とその中でより工夫、配慮が出来ることを学びたいという姿勢が強く感じられ、今後の認知症ケアのあり方や取り組みを推進していく上でも、とても参考となる研修だったと思います。

参加者に対するアンケート結果からも内容の理解度は約半数の方が「よく理解できた」、満足度、実践活用度、今後のセミナー開催時の参加意向はともに過半数以上が高評価、参加希望との回答が

あり、今後の継続開催への期待感が伺えました。

## ■ 成果の広報・公表

---

1. 社会福祉法人東北福社会ホームページに本事業の実施内容及び成果を掲載する。
2. 研修事業実施「報告書」については、当法人ホームページから自由にダウンロード、印刷ができるようにして、主に広報する。

## ■ 今後の展開

---

当法人拠点事業所で連携しながら、地域の公益的活動の一環としても、こちらから地域に出向いての出前講座や公開講座を継続していきたいと考えております。講座のテーマも地域住民や関係機関からの聞き取り、アンケートなどを活用しながら、より地域課題に則した内容で企画、開催したいと考えている。そのような観点からも日頃より、地域や関係機関との繋がりを大切にしながら、我々の法人理念でもあります、「すべての人がひとりの人間として尊重され、個性が輝く共生の地域づくり」の発展に向けた実践力向上を地域全体も巻き込みながら推進していきたいと思えます。